

科目	学年・小学科	単位数
商業・簿記	1年 情報システム科	3（簿記終了するまで5）
教科書	実教出版「高校簿記」新訂版	
副教材	実教出版「最新段階式 簿記検定問題集全商3級 改訂版」	

1. 学習目標

簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。

2. 学習方法

講義と演習で基本的な知識と技術を身につける。
配布プリントやワークの問題を繰り返し行い知識を定着させる。
各取引をビジネスに関する実務と関連付けて理解させる。

3. 評価の観点と趣旨

①	関心・意欲・態度	簿記について感心を持ち、適正な会計処理の知識と技術を身に付けようと主体的に取り組んでいる。また、会計処理を行う実践的な態度を身に付けている。
②	思考・判断・表現	基本的な知識と技術を活用し適正な会計処理を行うことができ、それを説明することができる。
③	技能	適正な会計処理を合理的に行うために、基本的な知識と技術を適切に活用することができる。
④	知識・理解	各単元の基本的事項を理解しているか。また、単元毎だけではなく簿記の仕組みを全体像として理解している。
⑤		

科目	学年・小学科	単位数
簿記	1年・情報システム科	3(簿記終了するまで5)

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	第1編 簿記の基礎	1章 企業の簿記	簿記の役割や種類など簿記の基礎を理解する	○			○	①簿記の役割や基礎について関心を持ち、演習においても主体的に取り組んでいる。 ②記帳に関する知識と技術を活用し、会計処理を適切に判断し表現することができる。 ③貸借対照表、損益計算書を作成することができる。 ④簿記の基礎についての基礎的な知識を理解し、各帳簿を関連付けて記帳することができる。	授業観察 プリント提出 問題演習 グループワーク
		2章 簿記の要素	簿記の要素と財務諸表の作成について理解する	○	○	○	○		
		3章 取引と勘定	取引の処理や勘定記入について理解する	○	○	○	○		
		4章 仕訳と転記	仕訳と転記の手続きを理解する	○		○	○		
		5章 仕訳帳と総勘定元帳	仕訳帳と総勘定元帳の意味と記入方法について理解する	○		○	○		
		6章 試算表	試算表の意味や種類・作成方法について理解する	○	○	○	○		
		7章 決算	決算の意味と手続きについて理解する	○	○	○	○		
	第2編 取引の記帳と決算I	8章 現金・預金の記帳	現金にかかわる各勘定への記帳について理解する	○	○	○	○	①各取引に関心を持ち、実務と関連付けて意欲的に取り組んでいる。 ②各取引や決算の方法を理解し適切に判断表現することができる。 ③決算の方法や仕組みを理解し、貸借対照表や損益計算書を作成することができる。 ④初歩的な決算について理解し、財務諸表の作成方法を理解している。	授業観察 プリント提出 問題演習 グループワーク
		9章 商品売上の記帳	3分法による記帳方法を理解し、商品売買損益の計算を理解する	○		○	○		
		10章 掛け取引の記帳	掛け取引の記帳方法と回収不能の場合の処理について理解する	○	○	○	○		
	第3編 取引の記帳と決算II	11章 固定資産の記帳	固定資産の種類と記帳方法について理解する	○		○	○	①各取引に関心を持ち、実務と関連付けて意欲的に取り組んでいる。 ②各取引や決算の方法を理解し適切に判断表現することができる。 ③決算の方法や仕組みを理解し、貸借対照表や損益計算書を作成することができ、内容について説明することができる。 ④決算における会計処理について理解し、財務諸表の作成方法を理解している。	授業観察 プリント提出 問題演習 グループワーク
		12章 決算(その1)	決算整理をとまなう決算手続きを理解する	○	○	○	○		
13章 手形取引の記帳		手形の仕組みと取引について理解する	○	○	○	○			
第4編 帳簿と伝票	14章 有価証券の記帳	有価証券の取引と記帳について理解する	○		○	○	①帳簿や伝票制について関心を持ち、役割や種類について興味を持ち取り組んでいる。 ③伝票の起票、集計、転記を適切に行う事ができる。 ④帳簿や伝票の意義を理解し、記帳の効率化について理解している。	授業観察 プリント提出 問題演習 グループワーク	
	15章 その他の債権債務の記帳	様々な債権債務の取引について理解する	○	○	○	○			
	17章 資本金の記帳	資本金の記帳について理解する	○		○	○			
第5編 取引の記帳と決算III	18章 決算(その2)	やや進んだ決算整理を行い、決算の手続きを理解する	○	○	○	○	①特殊な取引について関心を持ち、実務と関連付けながら意欲的に取り組んでいる。 進んだ決算手続きに興味を持ち、財務諸表からビジネスの諸活動を把握しようとしている。 ②特殊な取引において各立場になり取引を思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断・表現することができる。 決算手続きの処理に従い適切に処理し、表現することができる。 ③特殊な取引を適切に処理することができる。また、決算においては貸借対照表、損益計算書を作成することができる。 決算を適切に行い貸借対照表、損益計算書を作成することができる。 ④特殊な取引の基礎を理解している。 進んだ決算整理を理解し、貸借対照表の作成、2区分損益計算書の作成方法を理解している。	授業観察 プリント提出 問題演習 グループワーク	
	19章 帳簿	帳簿の種類や帳簿組織について理解する	○		○	○			
	20章 仕訳伝票と3伝票制	記帳の効率化と伝票への記入法について理解する	○		○	○			
第6編 本支店の合併	21章 5伝票制	5伝票制の起票・集計・転記を理解する	○		○	○	①本支店の仕組みに興味を持ち、記帳方法等に関心を持って意欲的に取り組んでいる。 ②本支店間の取引、支店間の取引について考え、記帳方法を適切に判断し、説明することができる。 ③基本的な知識と技術を身に付け、それを活用し適切に記帳することができる。 ④本支店会計の意義や必要性、会計処理について理解している。	授業観察 プリント提出 問題演習 グループワーク	
	22章 特殊な商品売上の記帳	特殊商品売上の仕組みと記帳方法を理解する	○	○	○	○			
	23章 特殊な手形取引の記帳	特殊な手形取引の仕組みと記帳方法を理解する	○	○	○	○			
前期末	第7編 複合仕訳帳制	24章 決算(その3)	進んだ決算処理について理解する	○	○	○	○	①記帳の合理化について関心を持ち、記帳方法と転記の処理方法の学習を積極的に進めている。 ②特殊仕訳帳と普通仕訳帳の相互の関係を理解し、適切に表現することができる。また、説明することができる。 ③相互の関係を理解した上で、合計転記、個別転記を適切に行う事ができる。 ④記帳の合理化について理解し、各帳簿の関わりを全体として把握することができる。	授業観察 プリント提出 問題演習 グループワーク
		25章 支店の取引	支店の取引や本支店間の取引について理解する	○	○	○	○		
	26章 本支店の財務諸表の合併	本支店の財務諸表について理解する	○	○	○	○			
	27章 複合仕訳帳制による記帳	記帳の合理化と複合仕訳帳の記帳方法を理解する	○	○	○	○			
発展編 株式会社の記帳	28章 設立と開業の記帳	株式会社の設立や開業の処理について理解する	○	○	○	○	①発展的な学習に関心を持ち意欲的に取り組んでいる。 ②株式会社の特有の取引について、主体的に思考し、個人企業との違いを思考し、基本的な知識と技術を活用して表現することができる。 ③株式会社特有の取引を適切に処理することができる。 ④株式会社の会計について基本的な知識を理解している。	授業観察 プリント提出 問題演習 グループワーク	
	29章 剰余金の処分に関する記帳	純損益の計上と剰余金の処分について理解する	○	○	○	○			
	30章 社債の記帳	社債を発行する側の記帳方法について理解する	○	○	○	○			
		31章 株式会社の税金の記帳	株式会社の税金についての記帳方法を理解する	○	○	○	○		